

## 研究課題

当院における超低出生体重児の麻酔管理について

## 概要

(1)目的:近年在胎週数 22、23 週の児の生存率が向上し、当院でも超低出生体重児の手術が増加傾向にあります。今回は特に配慮すべき点の多い 700g 未満の患児の麻酔管理について検討します。

(2)対象と方法:2012 年 1 月から 2015 年 11 月の間に手術を受けられた超低出生体重児のうちとくに体重の少ない 700g 未満のお子さんのカルテ記録を後ろ向きに検討します。対象となることを希望されない方は下記までご連絡ください。なお、診療記録を後ろ向きに分析しますので、診療に影響を与えることはありません。またデータは匿名化され、研究発表や論文報告の際に個人を特定される情報を使用することはありません。

## 研究機関

日本赤十字社医療センター 麻酔科 諏訪潤子 加藤啓一  
〒150-8935 渋谷区広尾 4-1-22 03-3400-1311 (代)